



かえでゆうびん 6月号



2023年6月1日
社会福祉法人 清松学園
幼保連携型認定こども園
かえで保育園
園長 引地 美津代

5月末には3年ぶりの運動はっぴょう会を開催することができ安堵しました。子どもたちの一生懸命取り組む姿や保護者の方々の温かいまなざしにコロナ禍で失っていたふれあい・笑顔・ほっこりした気持ち等がどんどん蘇ってきた一日でした。久しぶりの保護者の方々が揃って応援してくれる時間に「やっと戻れた…」の気持ちでいっぱいになりました。子どもたちの様子を見ていただき、その時の子どもたちの様々な葛藤の場も垣間見られましたが、かえで保育園では子どもたちがその時にどう感じているか？ どうしたいか？を中心にお声をかけています。

大勢の方が一堂に自分を見られた瞬間に今までの緊張感が一気にあふれ、何も考えられなくなったり、お母さんが見えたり見えなくなったりに不安で涙が出てしまったり・・・

かえで保育園は行事のためにいつもと違ったことを進めるといって保育をしていませんのでいつもと違うことにドキドキしてしまう子どもたち。

今回、何もできず固まっていた姿を見て残念な思いが出てしまうでしょうが、子どもは今をその日をしっかりと生きています。決してこのままの姿で大きくなるわけではありません。毎日の経験から様々な方法や言葉、行動を学んでいきます。その営みが「やってみたい！」に変わっていき、少しの援助でやれた時のうれしさや達成感が、今度は自信につながりこれからの自分を支えていきます。その姿を見ていただけるのがかえでの保育です。運動会のためにお遊戯をしたり、普段使ったことのない道具をその時だけ使用したりは一切なく、競技も見せ場も普段通り・・・

職員はその子どもの姿を引き出すために子どもたちの様子をしっかりと言葉で伝えられるよう「話す訓練」をしています。司会者もクラスの様子を伝える進行者もそれぞれの先生が心を込めて言葉を届けてくれていました。職員は子どもたちから刺激をもらい保育者として学び人として成長していきます。

今年は初めて5月に大きなイベントを計画しました。新しいクラスをスタートしたばかりですが、これから様々なことに挑戦していきます。その成長を年度末に皆様にお知らせできる日を楽しみに日々の保育を丁寧に進めていきます。

お子さま一人ひとりのかえででの生活がどうお子様の心を動かしていくのか今年も職員と共にわくわくしながら教育・保育を進めていきます。

ご参加くださった保護者の方々・家庭保育を協力いただいたためばえ・ふたばの皆様ありがとうございました。

2023年度子どもも保護者もそして職員も一緒に様々なことにチャレンジしていきましょう！！

おねがい



- ・園の前は駐停車禁止です。通行の妨げになるとともに園児の飛び出し等大変危険です。また、駐車場利用は短時間でお願いします。
- ・子どもたちの待ちに待った水・泥んこあそびを行います。全園児、シャワー後の体を拭くタオルが毎日必要となります。着替えを多めにご用意いただくと共に、持ち物に名前があるかの確認をお願いします。

おしらせ



6月の予定

- ・8日(木) だいち 甲山園外保育

*だいちぐみは体操には参加しません。詳細は後日お伝えします。

- ・13日(火) 誕生会
- ・17日(土) 卒園児対象 同園会
- ・1・8・15・22・29日(木) 体操
- ・7・26日(水・月) 絵画
- ・27日(火) 園内巡回指導

*健診

- ・尿検査 8・9日(木・金)
- 対象は幼児クラスです。事前に手紙と容器を配布します。

- ・耳鼻科 6日(火) 全園児
- ・月例(内科) 12日(月) 対象児
- ・歯科 12日(月) 全園児
- ・眼科 21日(水) 全園児

子育て支援事業

いずれも10:15~11:15です。

イベント

- ・6/20 音で遊ぼう
- ・6/22 人形劇
- ・6/29 アートを楽しもう



先生のメッセージ

徐々に気温が高くなってきましたね。生き物が大好きな私は、この季節になるとワクワクします。蝶々やダンゴムシ、幼虫など園庭にもたくさんの生き物がいます。

毎日生き物を探すのが私の日課です。この間、家のガレージの壁にツマグロヒョウモンの幼虫がやってきました。自分が気に入った場所を見つけ、動かなくなり逆さまになりやがてサナギになりました。その様子を写真に撮り成長を見守っていました。

羽化する姿を見たくて毎日観察していたのですが、仕事に行っている間に羽化して飛んでいってしまいました。楽しみにしていたのですが見る事ができず、悲しかったですが元気に飛んでいってくれて嬉しかったです。5月20・21日に行ったぐうたら村での研修ではたくさんの生き物たちとの出会いがありました。

ぐうたら村で生き生きと生活していた環境を実際に観察してきて、かえで保育園でも活かす事ができたらと思います。

N先生



メッセージ

先日の運動発表会、初夏の強い陽射しの中でしたが、多くのみなさまにお集りいただき開催できたことをうれしく思いました。
つぼみ・幼児の子どもとご家族で園庭は窮屈となり、立ちっぱなしの方々や見えにくい場所からの観覧となった方もおられました。最後まで温かく見守っていただきありがとうございました。築山の上で名前を呼ばれ入場、家族の人を見つけると「お家の人、いたいた！」と笑顔になれたり、緊張のあまり泣き出してしまったりする子どももいましたが、今回も様々な様子をご覧頂き、ご家族の思い出ができたことと思います。

5月20、21日山梨県北杜市清里に野外環境研修に行かせていただきました。今回は職員全員の参加はできませんでしたが、久しぶりの数人の職員と交流しながらの有意義な研修参加ができたことをうれしく思いました。今回の学びは森を歩き、自然界の営みを知ることなど、「かえで保育園ではこんなことにチャレンジしてみない？」「こんなこともやってみたいよね？」とこれからの保育の環境づくりの思いが深まりました。写真付きでの研修報告を園内に掲示させていただきました。ぜひご覧下さい。

主幹保育教諭 F先生

5月は園庭でたくさんの運動あそびを楽しみました。少しずつではありますが、保護者の方に園でのお子さまの様子を見ていただける機会も増え、嬉しく思います。それぞれの成長に加えて友だちとの関わりや、一緒に成長していく様子も毎年楽しみにしてくださっている保護者の方の声を耳にします。

日常の中でも子どもの心が揺れ動いている瞬間と出会えたので、エピソードを一つご紹介します。外あそびから帰り、赤白帽子をクリップに挟もうと一生懸命なYちゃんがありました。ちいさな声で「できるかな…」ぼつりと言葉をこぼしていたので、「大丈夫？お手伝いしようか」と声をかけると、ぱっと顔をあげて「だいじょうぶ。できるのよ？」そう言うと、見事にひとりで帽子をつけていました。日常の中で難なくこなしているように見えることも、こころの中には“できるかな…”の気持ちを持っているのかもしれない。

だからこそきっと、自分で出来た時の喜びは何倍にも膨らみ、日々の中のちいさな「できた」を幾つも積み重ねながら自信に繋げていくのだと思います。
乳児期であっても、握りしめた自身の手を眺めて“なんだ？これは”と発見したり、鏡に映る姿を見て“自分”の存在に気付いたり、葉が揺れる様子や肌で感じることで目に見えない風と出会ったり…。子どもにとっては毎日が初めての挑戦やときどきの連続、なるべく自分で発見する喜びや考える経験、試してみる機会を乳幼児期の間にたくさん重ねてほしいと思います。

主幹保育教諭 K先生

保護者からのエピソード

つぼみぐみさんになって、「おねえさん」になったと自覚している娘は、家では周りが何か手伝おうとすると「おねえさんだから！」と自分でしようとするのが多くなってきて成長を感じています。最近は園で覚えたダンスを踊ったり、「読んでもいいですか？いいよ！」と言って絵本を広げたり、園で楽しく過ごしていることが伝わり嬉しく感じています。

つぼみ組 みはるさん

妹は「今日の給食は〇〇。おやつは〇〇。」と必ずセットで教えてくれます。残した日は言わず全部食べた日だけ自信満々で教えてくれます。その隣で姉はメニューが正しいか聞き違っていると「ちがーう！」と訂正してくれます。

つぼみ・だいち組 あゆみさん

この3月に姉が卒園し、4月から1人で保育園に行くようになりました。初めのうちは、「どうしてお姉ちゃんは保育園いかないの？」と不満そうにしていたものの、姉から譲りうけた通園鞆が嬉しかったようで、予想に反して全くぐずることなく、幼児さんになりました。最近は、自転車の後部座席でかえで保育園の園歌やドロップスのうたを大声で歌いながら、毎日楽しく通園しています。

いぶき組 ちほさん

家では何をすることもゆっくりで甘えん坊な娘。保育園では回りに色々と口うるさい！？お姉さんなことも多いと聞いてびっくり。

これからも保育園でたくさんの経験を通して成長していく姿をみていくのが楽しみです。

いぶき組 あきさん

保育園のできごとをお家でいろいろと話してくれるようになってきました。「〇〇くんと〇〇したよ」と楽しそうに話してくれます。また、歌もよく歌ってくれるようになり、毎日楽しく過ごしていることが伝わり嬉しいです。

ひかり組 さちこさん

去年までは採ることに夢中だったのが、今年は虫の飼育に興味がある様子。保育園でのやり方や図鑑を見て、毎日朝から楽しそうに観察しています。

だいち組 みきこさん

今まで鉄棒がうまくできなかった娘。でも友だちや先生に励ましてもらいながら最近「やっとできるようになったよ！」とうれしそうに報告してくれました。園での生活を通じて苦手なことも頑張っ克服する大切さを身に付けてくれたと感じています。

ひかり組 ゆうこさん

5月の子どもたちのようす



園庭で栽培している様々な葉に触れてみました。不思議そうに眺めたり、じっと見つめたり、プランターに見に行ったり自ら進んで触れていました。園庭でたくさんの“はじめて”に出会っています。



先日子どもたちと「トウモロコシの苗」を植えました。保育者がプランターを持ってくると、今から何が始まるんだろう…と興味を持った子どもたちがたくさん集まってきました。苗を植える保育者の手元をじっと見つめ、「おみずあげてくれる？」というジョウロを手にして水やりをしてくれました。これからのトウモロコシの成長を子どもたちと共に楽しんでいきたいと思います。



ふたば組では同じクラスの友達との関わりを楽しむ姿が見られるようになってきました。園庭では友達と一緒にフラフープを使って電車ごっこをしたり、室内では手を繋いでいる姿もよく見られます。小さな手で握り合う姿がとても可愛らしいらしく、ほっこりとする瞬間です。



室内では、音の鳴る玩具で遊んだり、オーガンジーで“いないいないばあ！”を楽しんでいます。保育者と1対1で過ごす時間も設け、ゆったりと過ごしています。



園庭に出るとダンゴムシやちょうちょなどの虫探しが始まります。「一緒にちょうちょ捕まえようよ」「ダンゴムシは、あの草のところにいるのかな」と話ながら保育者や友だちと一緒に虫探しをすることとても楽しんでいます。虫が怖くて触れない子どもも、勇気を出して触ってみようとしたり、ちょうちょが飛んだときは、一生懸命追いかけたり、虫に夢中になって遊んでいます。



ナスの苗をプランターに植えました。「ナスってこんな葉っぱの形をしてるんだね」と葉っぱに触れてみたり、匂いを嗅いでみたり観察した後、「おおきなナスができますように」と手を合わせてお祈りする子どもたち。これから水やりを通して、ナスの成長をみんなで楽しんでいきたいです。





～ひかり組とお出かけ～

御前浜公園にひかり組と一緒にとお出かけしました。保育園を出て御前浜公園に着くとすぐ「おにぎり食べたい」とお腹がぺこぺこ。美味しいおにぎりにパワーをもらい、思いっきり走ったり、貝殻や木の枝など園にはない不思議な形のことをたくさん見つけました。



今月よりトマトの栽培を始めました！

4月の中旬頃にひかりさんで何を育てたいか一人ずつ考えて、みんなの前で発表をしました。りんご・いちご・バナナなどそれぞれの思いを教えてくださいました。そして、みんなで相談した結果トマトに決定しました。ひかり組の子どもたちと共に大きく強く育ててくれることを願っています。また、秋ごろにはいちごの栽培も予定しています。



だいち組で歌っている『せいくらべ』から「どっちが高い？」「同じくらいだね」と背中を合わせて背の高さを見比べています。今回は、はさみでいろんな色画用紙を長く長く切り、自分の背の高さを友だちに測って長さを比べました。

「どの色がいい？」と好きな色を聞いたり、その子に似合う色を選んでいました。背の高さを長い茎に見立てて、自分だけの花を表現しました。離れてみると「こんなに大きいんだ」と嬉しそうに見つめていました。



運動発表会では、積み木遊びが盛り上がっていることからその様子を見てもらうこととなりました。2人で協力しながら積み上げ、「できたー！」と完成を教えてくれる姿がとても微笑ましいです。子どもたちが遊んでいる中で、「つつみゲーム」という発言から、プログラムの名前「TSUMITSUMI」が決まりました。子どもたちのセンスが光った競技名となりました。



～種を植えてみよう～

昨年度のだいち組から「ぼくたちが卒園したら、種を育ててね」のメッセージから、いぶきさんが引継ぎ育てることになりました。子どものリクエストからりんご、プラム、めろん、パイナップル、すいか、黄色のすいかの種を植えました。芽が出てくるかは分かりませんが、期待しながら毎日水やりをしています。





兵庫県立美術館へ『恐竜図鑑展』を見に行きました。美術館の静かな雰囲気の中で「これ知ってる!」「背中がごつごつしてるね」と呟きながら図鑑で見ていた恐竜が大きく描かれた絵をじっくり観ていました。

当日にサプライズで行った美術館は、誰かが保育園にチケットを置いてくれたものでした。子どもたちと話をしていると「優しい人が届けてくれた?」とわくわくしながら楽しみました。園外保育後、やさしい人に手紙を書こうとありがたい気持ちを込めて、恐竜の絵を描きました。チケットを置いてくれた“やさしい人”にも気持ちが届きますように。



今、保育園の園庭には色とりどりの花が咲き誇っています。子ども達は思い思いに色水遊びや叩き染め、押し花を楽しんでいます。摘んだ時の花の色が色水になると変化していく様子をキラキラした表情で楽しんでいます。押し花はできあがるまでに時間がかかりますが、仕上がりを想像しながら待っているワクワクした時間も楽しみのひとつになっています。



お台所から



ずっと制限していた「クッキング」も少しずつ再開しています。まずは幼児さんにえんどう豆の豆だしをしてもらいました。不思議そうにじーっと見ている子もいれば、慣れたように簡単に豆を出している子もいたり、みんなプチクッキングを楽しそうにしていました。出してもらった豆をしっかり処理をして、「幼児さんだけの“豆ごはん”」にしました。お昼ごはんの時間になると「お豆だ〜」「この豆ぼくが出したんだよ」と教えてくれる子も。今後も子どもたちとの交流を増やしてもっと会話をしていきたいと思います。



おやつに“さくらもち”を作りました。

こしあんが入ったおはぎに、塩漬けをしたさくらの葉を巻いて作ったもので、毎年この季節になると登場し「いい匂いがする〜」と楽しみにしてくれている子もいます。さくらの花がおわり、新しい葉が出る頃を見計らって毎年「さくらもちの葉」を園長先生が摘みに行ってくださいます。今年も園長先生が摘んでくださった葉を使用しており、「葉も食べられるの?」「おかわりある?」「甘くて美味しい!」とたくさんの感想をお話ししてくれました。残った葉は触ったり、匂いを嗅いだり、玄関にも飾ったり、子どもたちがさくらの葉に触れる機会を作ることができて良かったです。毎年開花が早くなるので、葉を摘む時期が早まっていますが、来年も子どもたちの期待にそうよう予定していますのでお楽しみに!



～6月の献立・予定している食育活動～

暑い夏にぴったりの「水ようかん」や「オレンジゼリー」がおやつに登場します。6月は気温・湿度が高く、食中毒が起こりやすい時期です。石鹸をつかって丁寧に手を洗い、食中毒菌をつけない、増やさないよう気をつけましょう。厨房でも衛生管理に十分気を付け、安全でおいしいごはん・おやつを作っていきます。

栄養士 H先生 N先生

6月のあそびへの思い



めばえ

5月から新しいお友だちも増え、お部屋がよりにぎやかになりました。お友だちが朝登園してくると笑顔で手を振って“おはよう”と挨拶をしているようです。保育園での生活にも慣れてきて、リラックスして様々な表情を見せてくれるようになりました。これからも引き続き、子どもたちが安心して過ごすことができるよう1対1での関わりを大切に過ごしていきます。また、わらべうたや手遊びも積極的に取り入れていき、音楽も楽しめるようにしていきたいと思います。子どもたちが気持ちよく過ごすことができるように沐浴室内でも風を取り入れて過ごしていきます。体を拭くタオルの準備をお願い致します。

ふたば

ふたば組では先月、動物や生き物をテーマに保育していきました。お部屋にある動物のぬいぐるみや動物積み木を手にとると、象なら「ばおーん」豚なら「ぶーぶー」等と声に出しながら遊び、動物の鳴き真似をしてみたり名前を尋ねて言葉を模倣して楽しむ姿が見られました。又、動物の絵本や手遊びを楽しむ中で、指差しをしたり保育者の真似することを楽しんでいます。特に「おいでおいでぱんだ」や「かわいいかくれんぼ」が好きな子ども達。保育者が歌い出すと自然とその場に集まってきてくれます。ご家庭でもぜひ、一緒に歌ってみてください。

つぼみ

先月の運動発表会では、緊張しながらも入場行進やサーキット・玉入れと盛りだくさんの演目を楽しんでいました。予行の時は張り切って勢いよく行っていたみんなですが、おうち方の注目を感じるとときどき…。いつもと違った表情が見られました。運動する様子を見てもらったことが大きな自信になったり、体操の日だけでなく日ごろの遊びの中でも走ったり、鉄棒をするなど「見ててよ」と張り切って身体を動かすことを楽しんでいます。これから梅雨の時期になってきますが、室内でも子どもたちが大好きなダンスを踊ったり、ロッククライミングに挑戦したり、おもいきり体を動かして過ごしていきたいと思います。また、水分補給や衣服の調整に気を付けながら子どもたちが快適に過ごせるよう配慮していきたいです。

いぶき

運動発表会では子どもたちの楽しむ姿、成長した姿を感じていただけたと思います。また、異年齢での関わりも見てくださいました。嬉しそうにペアのだいち組のもとにいく様子に、いぶき組の子ども達にとって安心できる存在になっていることを嬉しく感じます。幼児クラスになり、子ども同士の関わりが幅が増えたことで、友だちの姿をみて“自分もやってみよう”という姿が増えました。通園帽子が自分で付けられるようになったこと、衣服が綺麗に畳めるようになったことなど、できる事が増えてきました。うまくできなくてもどかしい気持ちを経験し、その気持ちも大切にしながら、できるようになった時の喜び、達成感を味わい、次への意欲へと繋げられるように関わっていきます。

ひかり

5月から、「ももいろのきりん」という素話を読み始めています。今までは絵本の絵を見ながらの読み聞かせでしたが、話を聞きながら頭の中で想像する力に繋がれば、という思いからはじめました。最初の方は本のイラストが見たくて、保育者の横に来てのぞき込もうとすることもありましたが、月末には三角座りをして少しずつ最後まで話に耳を澄ませ、最後まで楽しめるようになってきました。これから子どもたちの「聞く力」がどのように育ってくれるのかとても楽しみです。また、5月の様子でも紹介したトマトの栽培ですが、実は事件がありました。「苗を植えるぞ！」という日にプランターに入れる軽石が足りない…という事態に。子どもたちと一緒に園庭に落ちていないか探しに探して、たくさんの軽石を見つけることができ、無事にトマトの苗を植えることが出来ました。今でも軽石を見つけては「あったよ！」と担任まで届けてくれる子どもたちのやさしさにほっこりしています。

だいち

運動発表会ごっこから出来るようになったこと、上手い出来ないこと、頑張りたいと思うこと、毎日いろんな思いや心境が見られます。様々な気持ちを伝える際に、子どもたち同士の気持ちがぶつかることもあります。少しずつ声の掛け方を変えようとする姿も見られるようになってきました。みんなそれぞれ違ったいいところがあることに普段の生活のなかでも気付いてほしいと思います。みんなで見つけあうなかで、自信に繋がり“一緒に”を楽しめるよう引き続き関わる機会を増やしていきたいです。



はまかせ

異年齢でペアになり、だいち組はいぶき組の朝の支度のお手伝いをしてくれます。いぶき組の子どもたちの中には、甘えて何でもやって欲しい子、一人でやりたいからお手伝いしないで！と意思表示する子など様々です。お手伝いのさじ加減がとても難しいですが、だいち組の子ども達はいぶき組の気持ちを汲み取り、試行錯誤しながらもお手伝いしてくれる頼もしい存在です。3時になると、フリールームで寝ているいぶき組の子ども達を迎えに来てくれてペアでランチルームに向かいます。いぶき組の牛乳はだいち組が運んでくれるので安心です。もちろんいぶき組の子ども達も自分でできる事は自分で。お盆におやつを乗せて慎重に運びます。そして仲良く席に着いたら楽しいおやつタイムのはじまりです。

